

# ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

特集……P2

## 兵庫県社協 「2015年計画」と 平成24年度の主要事業

みんなでつくるひょうごの福祉……P6

誕生!! 子ども福祉委員  
～子どもたちは地域の架け橋～

あなたのまちの社協ナビ……P7

篠山市社協  
みんなが主役 支え合うまち ささやま  
～元気な地域づくり～

地域を駆ける!ワーカー物語  
当事者に寄り添いながら地域を拓く  
稲美町社会福祉協議会 村下有美さん

兵庫県からつなく被災地支援……P9

県社協ニュース……P10

みんなの広場……P11

4  
No.734



4月2～8日は  
「発達障害啓発週間」  
だよ!



姫路市



# 兵庫県社協 「2015年計画」と 平成24年度の主要事業

平成23年度からスタートした兵庫県社協「2015年計画」は、県内の地域福祉の次の一歩を描く上で、あらためて私たち一人ひとりが望む社会のありようを考え、みんなが参加してつくる福祉社会を呼びかけている。

今月は、この呼びかけをさらに広げ、実体化させる上での県社協自身の今後5年間の事業方針と、それに基づく平成24年度の主な事業を紹介する。



## 兵庫県社協 「2015年計画」とは

「2015年計画」は、平成23年度からスタートした県域の地域福祉推進計画で、5年間の県社協の活動方針を定めている。

同計画では、「認め合い」ともつながり支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉」という全県スローガンを掲げ、福祉社会の姿を提案した。計画のポイントは、従来の福祉分野だけでなく幅広い団体・個人に参加を呼びかけたこと。これは、「無縁社会」に象徴される今

でにない社会の局面を乗り越えるには、県民一人ひとりが社会のありようを考え、福祉社会の実現に向け参加することが不可欠であるという認識による。この課題認識に基づき、4つの協働推進目標を会員に呼びかけた。

なお、県社協の使命は、「県内の地域福祉をすすめる力を結集し、私たちが目指す福祉社会づくりをすすめる」こと。今後、県社協では、会員をはじめ多様な団体・個人と問題意識を話し合いながら、この使命に基づく事業を展開する。事業展開の方向性は次のページの4つのアクションプランによる。



## 協働推進目標 | 会員とともに進めます

**1** みんなが認め合い、  
尊厳が守られる地域社会をつくりましょう

### 例えばこんな活動

- 権利擁護活動や福祉学習

**3** みんなでその人らしい暮らしを支える地域ケアや  
福祉サービスの充実・開発をめざしましょう

### 例えばこんな活動

- 誰もが利用できる宅老所、福祉専門職と住民の話し合いの場づくり

**2** みんなが参加し、つながることができる  
地域づくり活動を育みましょう

### 例えばこんな活動

- 福祉だけではなく防災・防犯・環境・文化などいろんな分野で、孤立しやすい人も参加できる地域づくり活動

**4** みんなが安心・安全を実感できる  
支え合いネットワークづくりをすすめましょう

### 例えばこんな活動

- 見守りネットワークや災害救援ネットワーク

## 県社協の5年間のアクションプラン

**1** 市町域での地域福祉の推進力を  
高める支援を強化します

“地域福祉を推進する要”である市町社協を支援するとともに、全県的な地域福祉課題について、関係者との研究・協議の場づくりや政策提言を行い、市町域での地域福祉の推進力を総合的に高める支援を行います。

### このために...

- 1▶ 市町域での地域福祉を推進する方策検討の場を多様なかたちで創出します。
- 2▶ 市町社協の基盤強化を進めるための支援をおこないます。
- 3▶ 「コミュニティワーカー」の育成を進めます。
- 4▶ 地域福祉の課題を調査・研究し、政策提言活動の強化を図ります。

**3** 質の高い福祉サービスの  
充実・開発を支援します

質の高い福祉サービスを提供していくために、福祉人材の育成を充実させるとともに、福祉従事者がいきいきと働くことができる職場づくりの支援を一層進めます。また、質の高いサービスを安定的・継続的に提供できるよう福祉事業者への経営支援を強化します。

さらに、社会福祉法人が地域福祉の重要な拠点として福祉・生活課題に対応する機能をより一層発揮するための仕組みづくりを支援します。

### このために...

- 1▶ 福祉人材の確保・定着に向けた支援を強化します。
- 2▶ 福祉サービス向上に寄与する福祉人材を育成します。
- 3▶ 福祉事業者への経営支援を強化します。
- 4▶ 地域福祉拠点としての社会福祉法人の公益的な取り組みを支援します。

**2** 多様な主体がつながり、  
資源が循環する仕組みづくりをすすめます

幅広いまちづくりの担い手が連携し、「担い手=人」と「拠点」「資金」「情報・ノウハウ」「サービス」などの資源が循環するよう各地域での仕組みづくりを支援するとともに、県域でこれらの仕組みづくりを進めます。

### このために...

- 1▶ 多様なボランティア活動の基盤を強化します。
- 2▶ 多様な主体の連携・協働に向けたコーディネートをおこないます。
- 3▶ ボランティア活動支援機関への支援を強化します。
- 4▶ 災害時の支援ネットワークづくりをすすめます。

**4** “暮らしのセーフティネット”の  
充実・強化を支援します

誰もが地域で安心・安全に暮らし続けることができるよう、「見守り・支援・連携」が一体となった“暮らしのセーフティネット”の取り組みの充実・強化を支援します。

### このために...

- 1▶ 安心・安全な暮らしを支える地域の取り組みの強化を支援します。
- 2▶ 権利擁護、生活支援の取り組みをすすめます。
- 3▶ 関係機関の連携によるネットワーク型支援体制を構築します。



平成24年度  
県社協の主な事業

「2015年計画」推進の2年目にあたる平成24年度は、4つのアクションに基づく次の事業を推進する。ここでは新規・重点など2〜3の事業に絞って紹介する。

「ストップ・ザ・無縁社会」  
全国キャンペーンを開始！

誰にも看取られない孤立死、支援のネットからこぼれ落ちた虐待・DV、引きこもりなど、傷病や失業などのちよっとしたことがきっかけで孤立化し、支援の手も届かない人々が増えている。こうした現象が「無縁社会」としてフローズアップされ、今まさに私たちの望む家族・地域・職場のありようを問い直す局面にある。県社協では、平成24年度から計画推進期間の平成27年度まで、会員をはじめとする賛同団体とともに、「ストップ・ザ・無縁社会」全国キャンペーンを展開、つながりのない社会のありようを問い直し、警鐘を鳴らす各種の取り組みを始める。

この一環として、平成24年度は「全国校区・小地域福祉活動サミット」（神戸市社協等主催）を共催し、各地域の支え合い活動の機運が全県で高まるための支援を行う。

アクション1

市町域での地域福祉の推進力を  
高める支援を強化

① 地域福祉推進計画の策定支援

現在、県内の地域福祉推進計画の策定状況（平成23年4月現在は、31市町（77.5%）で、そのほかの社協も現在策定中、または策定予定となっている。計画活動は、住民自身が地域の福祉・生活課題を把握し、話し合いにより、計画化し、協働の力で課題解決を図るという地域の福祉力を高める活動そのものである。県社協は、県内すべての市町村協が地域福祉推進計画づくりに取り組むための支援を引き続き行う。また、兵庫県とも連携し、すべての市町で行政による地域福祉計画が策定されるよう支援を進める。

② 市町村協の基盤強化に向けた

「課題別検討会」の開催

市町村協の地域福祉を推進する

業を実施する。23年度は、62事業が採択された。

アクション3

質の高い福祉サービスの  
充実・開発を支援

① 社会福祉従事者の育成支援強化

平成24年度は新規で「チーム・マネジメントリーダー研修」を実施するなど、職場づくりの要となるリーダー層の育成を強化する。

② 介護支援専門員の養成と  
資質向上

介護支援専門員の実務研修受講試験を実施するとともに、その養成と資質向上を目指した体系的・系統的な研修を実施する。

③ 職場研修の支援

23年度に作成した「OJT担当者のための新任職員育成ハンドブック」の普及を図るとともに、新規事業として「新任職員OJT担当者研修」を実施するなど、職場研修の支援を継続する。

④ 社会福祉法人経営計画づくり支援と  
新会計基準への移行支援

平成23年度に改訂した「社会福祉法人経営計画策定マニュアル」を活

用し、研修や指導者派遣を通じた経営計画策定支援を行う。

また、平成27年度からの社会福祉

法人新会計基準の移行に向け、会計実務研修や経営相談室での相談事業を行う。

⑤ 福祉施設と地域との連携支援

地域の福祉拠点である社会福祉法人が専門性を生かし、社協や民生委員などと協働して福祉・生活課題の解決に取り組めるよう支援する。平成24年度は、経営協と協働し、県内法人の地域での公益的な取り組みの実態把握と事例収集を行い、地域との協働実践に向けた方策を検討する。

アクション4

暮らしのサービィネットの  
充実・強化を支援

① 市町域での市民後見人の養成と  
体制整備を支援

県モデル事業「市民後見人養成研修事業」を踏まえ、今後とも県と連携して市町域での市民後見人の養成と体制整備を支援する。また、県内各地で設置が進められている「権利擁護センター」構想や、障害者虐待防止法の施行に伴う「障害者虐待防止セ

機能を高めるため、市町村協活動推進協議会の運営支援を行うとともに、地域福祉の課題別の検討会を開催する。市町村協役員職員の階層・職種別会議や「全国校区・小地域福祉活動サミット」とも連動させつつ、地域福祉を進める上での課題対応について、研究協議する。



幅広い住民でつくる地域福祉推進計画（南あわじ市社協）

ンター」などの動向も見据えつつ、課題の整理と情報発信を進めていく。

② 相談援助の現場を支援

相談援助と生活支援を担う福祉専門職に対し、相談面接技術研修をはじめとする各種研修を実施する。

平成24年度は新規事業として、新任の生活福祉資金貸付担当者を対象とした研修を行い、資金貸付を通じた相談援助・生活支援力の向上をねらう。また、市町村協で相談援助を担う人的整備の充実・安定化について、引き続き行政等に働きかける。

③ 権利擁護関係団体の  
ネットワークづくり

権利擁護活動が円滑に実施できるように、市町村協、弁護士、司法書士、社会福祉士などの関係機関のネットワークづくりを全県的に推進する。

県社協の機能充実

アクション別の活動事業を横断する取り組みとして、「社会福祉政策委員会」活動の充実および本会WEBサイトの全面リニューアルなど情報機能の強化を図る。

また、「組織強化」情報機能の強

アクション2

多様な主体がつながり、  
資源が循環する仕組みづくり

① ひょうご若者災害ボランティア隊  
（仮称）発足

東日本大震災をはじめとする各地の災害では、県内の大勢の若者の力が支援に生かされた。この動きを一過性のものとしないうちに、平成24年度に「ひょうご若者災害ボランティア隊」（仮称）を発足し、県内外での救援活動に生かす。



大勢の若者たちが被災地へ（NPO法人「生涯学習サポート兵庫」より提供）

② 地域づくり活動支援事業

国の「新しい公共支援事業交付金」を活用し、平成23年度に引き続き24年度も「地域づくり活動支援事

化「職員育成」「財政基盤強化」の具体的な方策づくりに向け、引き続き検討を進める。

東日本大震災の被災地への支援

東日本大震災への支援活動は、募金活動と情報収集・発信のほか、災害ボランティアセンター等への職員派遣やボランティア活動支援、被災者支援をするスタッフへの研修講師の派遣を行なってきた。平成24年度も被災地の関係者と連携し、復興のステージに応じた支援活動に取り組む予定である。

情報BOX

今月号でご紹介した関連資料は次の方法で入手いただけます。

- 兵庫県社協2015年計画
- 兵庫県社協 平成24年度事業計画・予算書
- 「OJT担当者のための新任職員育成ハンドブック」（本紙10ページもご参照下さい）

以上は県社協ホームページからダウンロードできます。

<http://www.hyogo-wel.or.jp/>

【問い合わせ先】

兵庫県社協 総務企画部 ☎078-242-4633

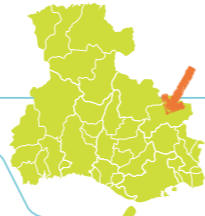
## あなたのまちの社協ナビ

市町社協の取り組んでいるさまざまな活動をご紹介します。

## 篠山市社協

篠山市社会福祉協議会 ☎079-590-1112

篠山市社協 検索



篠山市社協では、認知症や障害の有無にかかわらず、みんなが主役の支え合う地域づくりを進めている。このために、まずは権利擁護の意識を高める必要があると考え、市から受託している地域包括支援センターが中心となって権利擁護の理念や制度の啓発に力を入れてきた。

取り組みの一つが、篠山市と協働して開発した啓発劇である。

**ずっと笑顔で暮らせるように 成年後見制度啓発劇**

市社協、地域包括支援センター、地域福祉課の職員による啓発劇は、認知症高齢者の暮らしの場面を演じる。

「大切にしまっていたわしの通帳がない。また盗まれたんやー!」

「知らないうちに、おじいさんが高価な水晶玉を買っている!」

「財産や生活を守ってくれる成年後見制度を利用して暮らそう!」

暮らしに身近な場面設定の啓発

**元気な地域をつくる 地域福祉推進計画に基づく活動**

市社協では、権利擁護と日常生活支援の仕組みづくりに向けて、



わかりやすいと大好評!職員による住民向け啓発劇

劇は、とてもわかりやすいと好評で、認知症や成年後見制度の理解、相談窓口の職員に対する親近感という面で手ごたえを感じている。

市社協の橋元事務局次長は「権利擁護の意識の高まりを地区単位の小地域福祉活動につなげることが大切。地域福祉推進計画にその実行方法を明記した」と話す。

住民による見守り・支え合い活動から専門職連携による成年後見制度までを一体的に推進したいと考えている。このたび策定した第2次地域福祉推進計画は、市内19地区でワークショップを開催。また、老人クラブや当事者団体、ボランティア連絡会などと、住民と専門職の連携の必要性などをさまざまな課題について意見交換を行った。

ワークショップでの話し合いの結果、同計画では多様な組織・団体が話し合う「地区福祉会議」の開催を通じた小地域福祉活動の活性化を掲げた。例えば、高齢者などの移動手段の確保に取り組んでいる地区における住民主体の課題解決や活動の発展を支援する方針だ。

市社協はこの計画書を柱に、住民が地域で気兼ねなく集い、高齢者も障害者も子どもも自分らしく暮らすことのできる元気な



活発な意見が交わされた地区ワークショップ

地域づくりに向け、住民と一緒に取り組むを推進していく。

# みんなが主役 支え合うまち ささやま 元気な地域づくり

兵庫県内で初めて、豊岡市で「子ども福祉委員」制がスタート!子どもたちが熱心にあいさつ運動をしたり、地域の行事に参加しているよ。自分たちの暮らす地域のことを子どもたちも考える活動っていいなあ。



## みんなでつくる ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする取り組みを紹介します。

### 子ども福祉委員の活動

子ども福祉委員は、子どもを含め、みんなが地域の一員として活動に参加するための仕組みとして、豊岡市社協が新しく始めた取り組みだ。昨年、豊岡市内6か所の小学校の子どもたちが子ども福祉委員に任命された。市社協では「あいさつ・声かけ」から近隣の気豊かな交流や地域のつながりづくりを広げようと「あいさつ運動」も始めており、子ども福祉委員はその担い手にもなっている。

また、ふれあいいきいきサロンなど地域の活動や行事にも積極的に参加して、活動を盛り上げている。

**地域を良くするために できることを考える**

豊岡市立城崎小学校では、4年生全員が子ども福祉委員に任命された。まずは授業の中で地域をもっと良くするために何をしたらよいかを話し合うことに。自分たちが大切だと思ふことをポスターにしたところ、「ポスターをまちに貼りたい」と声が上がリ、公共機関に子どもた

## 誕生!!子ども福祉委員

～子どもたちは地域の架け橋～



子ども福祉委員の任命状をもらいました。



子どもたちがつくったポスターは図書館や駅に貼られています。

まちのごみ拾いも実施した。「障がい者のつどい」に参加した際には、全員で歌や楽器演奏を披露し、交流した。「ちよつと緊張したけど、みんな優しく安心した!」今度会ったら自分から声をかけます!という感想もあり、ともに生きる社会に向けた子どもたちの気づきにもつながった。

**子どもたちは地域の架け橋**

「地域行事に子どもたちが参加するとにぎやかになるなあ」と住民からも喜ばれており、地域活動と学校との良いつながりが生まれつつある。また、子どもたちにとっても、自分たちを支えてくれる地域の人について

ちがポスターの掲示を依頼し、元気いっぱいにあいさつをしてもらった。また、子どもたちからの提案で、

### 取材を終えて

元気な子どもたちが地域行事に参加することで、活動がにぎやかで楽しいものになります。また、子どもたちの視点や感性は大人にも新たな気づきを与えてくれます。豊岡市社協城崎地区センターの渋谷さんは、「子どもたちの自由な発想を大切に、子どもたちの思いを実現するサポートをしたい」と語られました。子ども福祉委員が大人たちを巻き込みながら、地域の活動を活性化させていく、今後の活躍に注目です。

豊岡市社会福祉協議会  
☎0796-43-1333 豊岡市日高町祢布891-2

知り、地域を良くするために何ができるのかを考える機会になっている。さらに、日ごろ地域行事に参加する機会が少ない子どもの保護者にとつては、子どもを通して「こんな行事があったんだ」と、地域の組織や行事を知り、かかわるきっかけにもなっている点も見逃せない。

子ども福祉委員の活動は、地域社会での新しい関係づくりのきっかけとなり、大人も子どもも一緒に自分たちの暮らす地域について考える活動へと広がっている。



篠山市社会福祉協議会 会長 羽田 登喜雄

平成23年度、篠山市社協では、社協内に若手中心のワーキングチームを結成し、柔軟かつ積極的な発想により「みんなが主役 支え合うまち ささやま」をスローガンとした「地域福祉推進計画(第2次)」を策定しました。また、篠山市も同時期に、「保健福祉総合計画」を策定するということが、市職員と社協職員との協働による地区ワークショップを開催し、行政と社協が両輪となって地域福祉を推進するきっかけづくりができました。

今後も、さまざまな関係団体と連携をとり、地域包括ケア体制の構築に取り組んでいきます。

地域を駆ける！  
ワーカー物語

当事者に寄り添いながら地域を拓く

ワーカーとしての  
原点は？

学生時代、脳性マヒの方の送迎ボランティアをしていました。その方のお母さんが決まって「お茶飲んでいき」と誘ってくださり、ご自宅でおしゃべりするのがとても楽しみでした。女手一つで障害のある子どもを育てていたお母さんの明るさとたくましさに触れ、こんなふうになんか支え、元気にしたいと感じたのが原点です。

地域福祉を進める中で一番印象に残るエピソードは？

社協に入って4年目に特別支援学級のバス旅行に同行する機会があり、お母さん方からいろいろな悩みを聞きました。学校には友達がいるけど、家に帰ると友達がいない。家族だけが遊び相手になっている。周りに迷惑をかけるのではと、子ども会への入会も抵抗があった。地域での障害児の子育ての大変さ、孤立しがちな本

人や家族の悩みが私を動かしました。町内には、就学前の障害児を支援する教室や当事者組織はありましたが、学齢期を対象としたものはなかった。その立ち上げを支援したいと思いました。

何人かのお母さんに声をかけ、研修会や話し合いを重ねました。障害のある子どもを産んだことでそれまでのキャリアを失った方の話をはじめ、障害の告知から受け入れまでの苦しみは、話す側も聴く側も涙なしではいられません。それでもわが子を思うお話を聴きながら、ここに至



クリスマス会が地域の方と障害のある子どもたちの交流の場に

るまでのたくさんの方々の笑顔と涙の体験に思いを馳せました。そして1年後、「どんまい!!れんげ草ママの会」が発足。「ハンディがあっても、れんげ草が畑で土を肥やす役目を果たすように、子どもたちが地域を豊かにするような存在に」、そんなお母さん達の願いが込められています。

この経験から、子どもたちがその子らしく過ごせる地域にしたいと強く思うようになりました。会が発足したことで、学生ボランティアグループ「地域探検隊」との交流会が実現したり、クリスマス会などで地域の方と障害のある子どもたちの交流が増えたり、地域での障害に対する理解が少しずつ深まってきています。

今ホットな活動&力を入れたい活動は？

最近、地域で居場所がないという生きづらさを抱える方の相談が増えています。そこで、そのような方が主役になれる場ができないかと、交流が生まれる地域での居場所「オープン

ワーカーとして大切にしていることは？

「つながりと流れ」を意識すること。

取材を終えて  
笑顔、涙をともにしながら、今日までお母さんたちと歩んで来られた村下さん。当事者に寄り添い、心を通わせながら進められている実践は、これこそワーカーの醍醐味だと感じます。

むらした ゆみ  
稲美町社会福祉協議会 村下 有美さん

Personal History

- 22歳 入局
- 25歳 「どんまい!!れんげ草ママの会」立ち上げ
- 27歳 学生ボランティアグループ「地域探検隊」支援
- 33歳 生きづらさを抱える人の相談が増える「オープンカフェ(仮称)」立ち上げ準備



兵庫県社協

3.11東日本大震災  
市民とボランティアのつどい  
～阪神・淡路から東日本へ、そして心ひとつに～

ひょうごボランティアプラザは、13回目となるボランティアバスを運行し、東日本大震災から1年となる平成24年3月11日に東北大学で開催された『3.11東日本大震災 市民とボランティアのつどい』の運営支援を行いました。このつどいは、地元のNPOや大学のほか、プラザも参画する実行委員会が主催(実行委員長東北大学村松 淳司教授)。兵庫県から赴いたボランティアは、震災追悼式を担当しました。

つどいのテーマである「阪神・淡路から東日本へ、そして心ひとつに」が示すとおり、阪神・淡路大震災を経験し



歌声で届けるエール(長田高等学校音楽部のコーラス)

兵庫県からつなぐ  
被災地支援

兵庫県内の社協、社会福祉施設、NPO、職能団体等の救援活動を紹介し



た兵庫県と東日本をつなぐ追悼式となりました。とりわけ、兵庫県立長田高等学校音楽部が歌った「しあわせ運べるように」は、亡くなった方々への鎮魂と東北の未来へのエールとなりました。

「3.11を忘れない」という兵庫県の思いが、東北の方々へ届くことを祈りつつ、泥かきやガレキ撤去というボランティア活動が減っていく中、震災から1年という区切りに私たちを含めてボランティア自身が今後の支援のあり方を再考する機会となりました。

(兵庫県社協 野倉 加奈美)

篠山市社協

“忘れない3.11”  
市民2,200人のつどい



参加者が手と手をつないで心ひとつに

東日本大震災から1年を迎えた3月11日、被災地に思いを馳せ、失われた多くの尊い命に哀悼の意を表し、防災の意識を高めるとともに思いやりの心を持って支援していけるよう、『東日本大震災から1年 忘れない3.11「お城ドーナツ」』を行いました。

篠山城跡周辺に集まった約2,200人は外堀約1.8kmを囲み、東北地方へ向かって黙祷を捧げた後、篠山市出身の兄弟デュオ「ちめいど」の曲、「命のリーダー」を全員で手をつないで合唱しました。

参加者が手をつないで輪となったとき、参加者の心はその手を通してひとつにつながったように感じました。人と人とのつながり、「絆」の大切さを改めて感じ、震災のことを忘れず、一人ひとりが今、自分にできることを考える機会となりました。

(篠山市社協 中田 絵理)

三木市社協

避難者の交流会を開催

「点在する東日本大震災からの避難者がつながり合い、情報交換できる場がほしい」という声を形にするため、震災から1年を迎えた3月11日、三木市内に避難されている方々の交流会を開催しました。



前向きで力強い言葉が出てきた交流会

被災状況や避難理由が異なる方々が、お互いに気遣い合いながらこれからについて語り合う場となりました。「暮らしにくさを感じて避難してきている方なら誰でも参加できる交流会を継続していきたい」、「避難を考えている方々のために先に避難した者としてできる限りの支援をしていきたい」という思いに寄り添い、「避難」の言葉が交流会名から外れる日が来るまで、三木市社協は交流会を応援していきます。

(三木市社協 坂本 幸枝)

## 新任職員も中堅職員も育つOJTに向けて 「OJT担当者のための 新任職員育成ハンドブック」を発行!



兵庫県社協では、職場研修の定着に関する調査(平成23年9月)の結果を受け、OJT(※)を実践する

ための考え方や手法をまとめたハンドブックを3月に発行した。

ハンドブックでは、OJTを職場における人材育成の基本とし、職員の成長レベルに応じた育成を行う重要性と、教える側も成長する機会となることを紹介している。また、職場ぐるみで取り組むポイントも盛り込んだ。

県社協では、ハンドブックを活用

した研修を実施するなど、職員同士が育ち合うOJT実践に向けた支援の充実を図っていく。

※OJTとは、「On-the-Job Training」の略で、日常の仕事を通じて必要な知識・技術・態度などを習得させること。

調査結果およびハンドブックは社会福祉研修所のホームページからダウンロードできます。

●問い合わせ先  
兵庫県社協  
社会福祉研修所  
☎078-367-3001  
<http://hyogo-f-kensyu.jp/>

## 福祉人材の確保と定着を目指して

### 「福祉の仕事啓発DVD」と「メンタルヘルスガイドブック」を発行

兵庫県社協では、このたび福祉の仕事啓発DVD「人が幸せに生きるために」を発行した。このDVD



は、高校生や初心者向けに福祉の仕事や職種・資格などを紹介するほか、職員、サービス利用者やその家族のインタビューなど現場の声を届け、福祉の仕事の実際と魅力を伝えている。

また、平成21年度から取り組んできた「職場のメンタルヘルス体制整備支援事業」の集大成として「福祉職場のメンタルヘルスガイドブック

ク」を発行した。このガイドブックは、福祉職場におけるメンタルヘルス対策の意義と具体的な取り組み方、対策に役立つツールについて解説している。

DVD、ガイドブックともに無償配布。

お問い合わせは福祉人材センター  
(☎078-271-3881)まで

## 寄付について(お礼)

厚意に、心よりお礼申し上げます。

### 「親切会」から県内セルフヘルプグループに寄付

3月8日、「親切会」から、本会を通じて県内のセルフヘルプグループに寄付が贈呈された。親切会は、昭和34年に有志で組織された全国組織で、会員の歳末募金による浄財を福祉の向上に役立てることを趣旨として、全国の福祉団体等に寄付を行っている。

このたび兵庫県内で同会から寄付を贈呈されたのは、不登校・引きこもり・社会不安を抱えた家族会(ふくろうの会)(姫路市)、兵庫県難病団体連絡協議会(神戸市)、精神障害者の会(三宮の場)(西宮市)で、寄付金は各団体の活動に役立てられる。



親切会役員(左2人)から3団体に寄付金が贈呈

## 「成年後見制度」を暮らしに身近な制度へ 住民と福祉関係者がともに学ぶ

3月23日、龍野商工会議所にて第2回権利擁護人材フォーラム「知って役立つ成年後見制度」を開催した。同フォーラムは、本会と兵庫

生活場面を題材にした落語を通じて、参加者は笑いに包まれながら制度の必要性を学んだ。



落語で学ぶ桂ひな太郎さんの「成年後見落語」



成年後見制度の上手な使い方を説明する社会福祉士の吉田麻希さん

第一部は社会福祉士の吉田麻希

さんから事例を交えた講演があり、成年後見制度を上手に活用することで判断能力が不十分になっても地域で生き生きと暮らし続けられることを確認した。

このほか、参加者との質疑応答や県内の成年後見制度の取り組みが報告された。成年後見制度が自分の暮らしに身近な制度であることを学ぶ

とともに、自分や家族の「本人らしい生き方」を考える機会となり、大変盛況のうちに幕を閉じた。

第一部は、「成年後見落語」で活躍している落語家の桂ひな太郎さんを迎えた。認知症高齢者の身近な

## みんなの広場

兵庫県社協の会員からの情報発信コーナーです

### 子どもたちの笑顔を社会でつくり

## 兵庫県児童養護連絡協議会

### 第21回 「おーい集まれ!こいのぼりの集い」 参加者募集中!

「おーい集まれ!こいのぼりの集い」は、5月5日のこどもの日から1週間の児童福祉週間の記念事業として毎年、兵庫県児童養護連絡協議会が開催しています。集いは、家族と離れて施設で暮らす子どもたちと職員、児童福祉関係者、地域の住民が一堂に会して行うフェスティバルで、例年1,000人以上の参加者でにぎわいます。

会場入口には児童養護施設や乳児院を紹介したパネル展示や各施設が工夫を凝らした啓発コーナーを設置。場内では焼そば、たこ焼き、ジュースなどの模擬店やゲームコーナーが

並び、子どもも大人も楽しめます。ステージでは、子どもたちや職員が日々研鑽した唄や踊りを披露して、施設の子もたちが元気に明るく過ごしている姿をアピール!ぜひ、会場に足を運んでください!

- 日 時 平成24年5月12日(土) 10:00~15:30
- 場 所 明石公園西芝生公園
- 参加費 入場無料、どなたでも参加いただけます。

### 連絡先

兵庫県児童養護連絡協議会 事務局 〒671-1102 姫路市広畑区蒲田383-3  
☎079-230-1212 FAX079-230-1213 <http://www.hyogo-kids.gr.jp/>

アピールしたい活動の  
情報をお寄せください。

お問い合わせ先  
兵庫県社協 総務企画部 ☎078-242-4633 FAX 078-242-4153 E-mail [info@hyogo-wel.or.jp](mailto:info@hyogo-wel.or.jp)

# INFORMATION・伝言板

## 助成金情報

福祉活動等に対する助成金の情報です。詳細については、それぞれの問合せ先にご確認ください。

### キリン福祉財団 平成24年度

- ①キリン・子ども「力」応援事業
- ②キリン・シルバー「力」応援事業

子どもの発想から生まれ、子どもが主体となり実施する活動や、高齢者が地域のために、その知識・技術・経験を活用するグループによるボランティア活動に対し助成します。

**対象** ①18歳以下のメンバーが中心となり活動する4人以上のサークル、グループ※小・中・高等学校、フリースクール・フリースペース・児童館・児童養護施設などが計画運営しているクラブ・サークル活動・課外授業や修学旅行は対象外②65歳以上のメンバーが中心となって活動する4人以上のグループ※老人福祉施設などが計画・運営しているクラブ活動・サークル活動は対象外

**助成額** ①1件上限15万円②1件上限30万円(総額①②あわせて1,200万円)

**締切り** 平成24年4月30日(月)消印有効  
**申請** 公益財団法人キリン福祉財団  
 TEL03-5540-3522

### 兵庫県共同募金会 平成24年度 ボランティア・NPO支援事業

**対象** 兵庫県に所在し、県域または複数市区町域で活動を行うボランティア団体・特定非営利活動法人で1年以上の継続的、組織的活動実績があること

**助成額** 1団体上限30万円(総額150万円)

**締切り** 平成24年5月18日(金)消印有効  
**申請** 社会福祉法人 兵庫県共同募金会  
 TEL078-242-4624

**URL** <http://www.akaihane-hyogo.or.jp/>

### みずほ教育福祉財団 第29回「老後を豊かにするボランティア活動資金」

高齢者のためのボランティア活動を奨励します。

**対象** 地域社会で高齢者のための活動をすすめている幅広いボランティアグループ(住民参加型在宅福祉サービス団体等を含む)で、ボランティア数10~50人程度、結成以来の活動実績が2年以上の団体(本助成を過去3年以内に受けたグループ、老人クラブ、法人格を有する団体は対象外)

**助成額** 1グループ上限10万円(140グループ程度)

**締切り** 平成24年5月31日(木)  
**申請** 財団法人 みずほ教育福祉財団  
 TEL03-3596-4532  
**URL** <http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

## 生命保険協会 子育て家庭支援団体に対する助成

就学前の子供の保護者など(妊婦を含む)への支援活動を行っている団体に対し助成します。

**対象** 就学前の子供の保護者等(妊婦等を含む)に対し学習会活動や相談活動などの支援活動を行う民間非営利の団体、ボランティアグループ、特定非営利活動法人で、申請時点で1年以上の活動実績を有し、継続して運営しているなどの要件を満たす団体

**助成額** 1団体上限25万円(総額1,400万円)  
**締切り** 平成24年4月27日(金)消印有効

**申請** 生命保険協会「子育て家庭支援団体に対する助成活動」事務局  
 TEL03-3286-2643  
**URL** <http://www.seiho.or.jp>

## 研修・イベント

### きょうされん兵庫支部まつり

障害のある人たちの地域で「働く」「活動する」「生活すること」を応援する活動の一環として、きょうされん兵庫支部まつりを開催します。

**日時** 平成24年4月21日(土)11:00~15:00  
**会場** 神戸市新長田 鉄人広場  
**内容** 出店、ステージ上での演奏・催し物、障害者スポーツ体験など  
**申請** きょうされん兵庫支部まつり事務局  
 TEL078-582-4016

### 第18回 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展 バリアフリー2012

西日本最大の総合福祉展。基調講演・各種セミナー・ワークショップ等多数開講します。

**日時** 平成24年4月19日(木)~21日(土) 10:00~17:00  
**会場** インテックス大阪  
**主催** 大阪府社会福祉協議会・テレビ大阪  
**申請** バリアフリー展事務局  
 TEL06-6944-9913  
**URL** <http://barrierfree.jp>

### 第16回 パーソンセンタードケア ワークショップ in 大阪

認知症ケア「パーソンセンタードケア」についてワークショップを通してわかりやすく学びます。

**日時** 平成24年5月19日(土)12:30~16:30  
**会場** 日本メンタルヘルス協会大阪校  
**参加費** CLC会員・ブリーコラージュ読者5,500円、一般7,500円  
**申請** 全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)TEL022-727-8730  
**URL** <http://www.clc.japan.com/>

## 募集

### 赤い羽根共同募金 平成24年(2012年) 記念パッケージデザイン募集

**対象** 共同募金会の5府県(滋賀県・兵庫県・奈良県・和歌山県・大阪府)に在住、またはは在勤・在学の方

**締切り** 平成24年4月20日(金)  
**賞金** 採用作10万円、愛ちゃん賞(5点)5,000円、希望くん賞(20点)1,000円分図書カード  
**申請** 社会福祉法人大阪府共同募金会  
 TEL06-6762-8717

## 県社協職員異動 平成24年4月1日付

事務局長	永守 研吾
事務局次長兼 権利擁護センター所長	小林 茂
	都 完治
総務企画部 部長	戸田 達男
総務企画部 副部長	吉田 尚史
総務企画部 主事(兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課派遣)	長谷川 哲也
地域福祉部 部長(兼務免)	馬場 正一
地域福祉部 副部長	荻田 藍子
地域福祉部 主事 前川 奈津子(新規採用)	地域福祉部 研修生(「社福」みのり福祉会から派遣)
地域福祉部 研修生(「社福」みのり福祉会から派遣)	黒川 泰代
生活資金部 部長	衣川 哲夫
生活資金部 主任	井筒 隆久
福祉事業部 部長	福島 真司
兵庫県福祉サービス運営適正化委員会 事務局次長兼経営相談室長	藤原 泰仁
福祉人材センター 所長	前田 剛
福祉人材センター 副部長	安並 剛志
社会福祉研修所 所長	圓尾 辰夫
同研修第一部 部長	小田 直樹
同研修第一部 主任	松本 裕一
同研修第二部 部長	岩木 久敏
ひょうごボランティアプラザ 総務調整部 副部長	前田 敬代
同総務調整部 主事	鬼城 良一
同交流支援部 部長	入江 浩子

## 退職

平成24年3月31日付

福祉事業部 部長	長尾 泰邦
兵庫県福祉サービス運営適正化委員会事務局次長兼経営相談室長	才田 茂雄
社会福祉研修所 所長	濱口 清子
同研修第二部 主事	惣田 憲司
ひょうごボランティアプラザ交流支援部 部長	野倉 加奈美

社会福祉法人

## 経営計画策定マニュアル[改訂版]

経営計画を作成するための「マニュアル」本。自法人で3年から5年後を見据えた中期経営計画づくりに取り組む一助にぜひ。

**改訂ポイント** 一より実践向けに！経営者だけでなく職員リーダーにもおススメ

- その1 現場の実態をより反映した構成・内容にしました
- その2 事例や現場の工夫を盛り込みました
- その3 “すぐ使える”ワークシート集を改善!

**申込み・問合せ先** 兵庫県社会福祉協議会 総務企画部  
 平成24年3月1日発行 A4判 78ページ 1,000円  
 Tel 078-242-4633 Fax 078-242-4153

## 遺産相続の無料相談受付中!

どんな相談もお気軽に!

**相続 遺言書 相続税 事業承継**

お電話にてご予約下さい

- ・相続手続きって何をしたらいいの?
- ・もめないための事前対策はありますか?
- ・相続税がかかるか事前に相談したい。

神戸しあわせ相続サポートセンター  
**☎0120-161-362**  
 受付(平日) 8:00~20:00  
 神戸市灘区永手町5丁目2番6号永手ビル4階(JR甲冑駅より徒歩1分)